

第2次地域福祉活動計画

中間評価

をおこないました。

地域福祉活動計画は、住民のみなさん自らが取り組む目標を示した活動計画です。

現在、計画期間を令和2年度～7年度とする第2次永平寺町地域福祉活動計画（以下、2次計画）のもと、令和2年度より「みんなと笑顔でたのしく生きるまち」を基本理念と位置づけ、笑顔で楽しく暮らしていくために行政、関係機関、団体等と力を合わせ、住民同士が支え合う、助け合う風土を育みながら変化しつつある福祉、生活課題に応じていく、住民主体の地域福祉活動を推進しています。

例えば当会では、高齢者の健康で生き生きとした生活を送るための「ふれあいサロン」の立ち上げや運営支援、また、マンパワーとして地域に必要なボランティアの新たな人材育成や活動への支援を行う「ボランティアセンター」の運営、さらに、自治会内の福祉課題（見守り、防災の準備、福祉マップの作成、ごみ問題など）を住民同士が話し合い解決策を考えていく「小地域福祉委員会」の立ち上げや運営支援など幅広い地域福祉活動を展開しています。

そこで、これらを踏まえ、2次計画の中間期である今年度、地域福祉活動計画評価委員会において計画の評価（実際の活動、成果・理由、課題、今後の取り組み）を実施しました。



中間評価の流れ



第2次地域福祉活動計画 (R2～R7)



自分たちが住んでいるところをみんなが幸せになれるよう、また住みやすくしていくために何をしたらよいか表したものです。

中間評価 (R4)

評価にあたっては、住民のみなさんと一人ひとり向かい合って20代～70代の男女（地域の方・福祉委員・サロン・学生・障がい者・福祉関係などの方）の方からお話を伺いました。



次ページに、第2次地域福祉活動計画の27項目の活動の状況を確認した評価を記載しました。